

2026年4月1日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
U-15 カテゴリー部会 御中
U-12 育成グループ 御中
各ブロック各都道府県競技長・審判長 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会
競技運営部 部長 安枝 和子

2026年度競技に関わる規程および通達変更点について

平素より、本協会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、標記の件につきまして、2026年度競技に関わる各規程および通達の変更点を下記のとおりご連絡いたします。各ブロックならびに各都道府県におかれましては、内容をご確認のうえ、関係各位への周知徹底をお願いいたします。

記

1. 2026年度 競技に関わる規程改正一覧 (2026 HOCKEY HANDBOOK)
 - (1) 競技規則の改正について
 - (2) 大会運営規程の改正について
 - (3) 登録・資格に関する規程の改正について

※上記につきましては2026年度版 HOCKEY HANDBOOK を日本ホッケー協会 HP に掲載しておりますのでそちらを参照してください。

2. 2026年度 競技に関わる適用通達について

- 監督、選手、コーチ、手当者の兼任について(2026.4.1)
- 競技会における TD,UM の配置について(再通知)(2026.4.1)
- 国民スポーツ大会ブロック予選実施時の試合時間ストップ制の推奨について (2024.5.21)
- 競技者の人数についてのガイドライン (2023.3.27)
- 公認スティックシールの厳格な取り扱いについて (2023.11.7)
- JHA 公認試合球について(2021.7.5)
- チームベンチ内でのビデオ (カメラ) 撮影について(2023.7.5)

適用開始日：2026年4月1日

以上

2026年4月1日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
U-15カテゴリー部会 御中
U-12育成グループ 御中
各ブロック各都道府県競技長・審判長 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会
競技運営部 部長 安枝 和子

競技会におけるTD、UMの配置について（再通知）

皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、「競技会におけるTD、UMの配置について（通知）」（2018年6月26日付）にてTD、UMの配置のお願いをしているところでありますが、現状を踏まえ改めて通知させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

記

1. TD、UM 配置の意義

競技会開催中の事故や不適切な言動に基づく問題が発生した場合には、責任を持って対応する責任者の所在を予め明確にしておく必要があります。更にはホッケー競技の発展を視野に入れたメディアや観客への対応を適切に実施していく大会運営体制も必要です。そのためにTDを設置した運営体制で実施する大会を定着させていかなければならないと考えています。また、試合中には重要な役割を担う審判員を適切に監督・指導するUMは、TDを補佐し、技術的内容についての責任を持つことができるため、一定以上の規模の大会についてはTDの補佐としてUMの配置が円滑な大会運営には必要です。

2. TD、UMを配置する大会

下記の大会の開催にあたっては、主催者はTD、UMを配置して運営してください。

全国大会（JHA が主催、共催） --- TD、UM を配置して実施します。ブロック大会（※） --- TD、UMを配置してください。

都道府県大会（※） --- TDを配置してください。UMの配置を推奨します。

上記以外の大会 --- TD、UMの配置を推奨します。

※ブロック大会：全日本中学生選手権大会、全国高等学校選手権大会（インターハイ）、
全国高等学校選抜大会、全日本社会人大会、国民スポーツ大会の予選会に相当するブロック
での大会

都道府県大会：全日本中学生選手権大会、全国高等学校選手権大会（インターハイ）、
全国高等学校選抜大会、全日本社会人大会、国民スポーツ大会の予選会に相当する
都道府県内での大会

3. 大会TDの資格

公認競技役員規程（第7条）に記載のとおり、適切な資格保有者でなければなりません。テクニカルオフィシャル2級有資格者は全国大会以外（ブロック大会、都道府県大会、及びその他の大会）のTDを行うことができます。大会の規模や予算制約により大会TDが試合のTOを兼務することも可能です。

なお、予算制約、要員制約により有資格者のTD配置がどうしても困難な場合は、責任のとれる適任者を配置することも可能としますが、事前に当該ブロック競技長の了承が必要です。

4. UMの資格

公認競技役員規程（第7条）に記載のとおり、適切な資格保有者でなければなりません。但し、予算制約、要員制約により有資格者のUM配置が困難な場合は、ブロック・都道府県審判長、A級・B級資格保有者、A級・B級引退者をUMとして配置することも可能としますが、事前に当該ブロック審判長の了承が必要です。また、大会の規模によりTOや試合の審判員と兼務することが可能です。

5. 適用日

2026年4月1日

なお、「競技会におけるTD、UMの配置について（通知）」（2018年6月26日付）は2026年4月1日で廃止します。

6. 参考資料

「競技会におけるTD、UMの配置について（通知）」（2018年6月26日付）

以上

【お問合せ先】

公益社団法人 日本ホッケー協会事業本部
競技運営部 西澤 英一郎
E-mail: co@japan-hockey.org

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
U-15 カテゴリー部会 御中
U-12 育成グループ 御中
各ブロック、各都道府県競技長・審判長 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会
事業本部競技運営部 部長 安枝 和子

監督、選手、コーチ、医療スタッフの兼任について（通達）

平素より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、「監督、選手、コーチ、手当者の兼任について（通知）」（2018年7月7日付け）及び「監督、選手、コーチ、手当者の兼任の徹底について（通知）」（2021年6月24日付け）にて周知を図ってまいりました。監督、選手、コーチ、医療スタッフの兼任に関しまして、一部大会について通知内容と異なる運用が行われていることが確認されました。つきましては2026年度より改めて徹底いただきたく以下、通達させていただきます。

また、本通達にあわせ以下の通知については廃止とさせていただきます。

「監督、選手、コーチ、手当者の兼任について（通知）」（2018年7月7日付け）

「監督、選手、コーチ、手当者の兼任の徹底について（通知）」（2021年6月24日付け）

記

1. 選手、コーチ、監督の兼任の可否について

- (1) 全日本選手権大会及び大会の結果が全日本選手権大会の出場権に関わる大会における、複数のチームにわたる監督・コーチ・選手の兼任は認めない。ただし、自身の所属するチーム内で選手兼コーチ、選手兼監督の兼任は認める。その場合は、「選手」「チームスタッフ」の両方での登録が必要。また、その他の大会においても、本通達及び大会実施要項等に定められていない場合は同様とする。

例1) 全日本社会人ホッケー選手権大会で、同じチームの監督兼選手として大会参加することは可能。

例2) 全日本社会人ホッケー選手権大会で、男子チームでは選手/コーチ/監督、女子チームではコーチ/監督という参加は認められない（男子・女子逆でも同等）。男子・女子の種別は異なるが同一大会とみなす。

- (2) 別大会の場合の兼任は認める。

例3) 全国高等学校ホッケー選手権大会で監督として参加し、全日本学生ホッケー選手権大会で監督をすることは認める。ただし、高校チーム、大学チームのそれぞれに「チームスタッフ」としての登録が必要。

例4) 全日本学生ホッケー選手権大会で監督として参加し、全日本社会人ホッケー選手権大会で選手、選手兼コーチ、選手兼監督として参加することは認める。ただし、大学チームで「チームスタッフ」として登録し、社会人チームで「選手」「チームスタッフ」（必要に応じて）としての登録が必要。また、両チームが全日本選手権大会の出場権を得た場合には、どちらかのチームでのみ登録及び参加が認められる

- (3) 全国大会の予選会もその同一大会とみなす。すなわち、全日本社会人ホッケー選手権大会のブロック大会で男子チームの選手で大会参加登録を行い当該チームがブロック予選会にて敗退した場合、女子を含む他のブロック予選会及び本大会に参加するチームの監督、コーチ、選手として登録することはできない。

例5) 全日本社会人ホッケー選手権大会関東ブロック予選会の男子チームの選手で大会参加登録した場合、近畿ブロック予選会の女子チームのコーチとして大会参加登録することは認められない。

2. 医療スタッフの兼任の可否について

- (1) 医療スタッフは、同一大会内であっても制限なく兼任を認める。ただし、選手として登録をしている者が、他のチームで医療スタッフに従事する場合は、別途「チームスタッフ」としての登録が必要。同チームであれば「チームスタッフ」としての登録は必要ない。なお、同一種別の別チームに同時に登録することも可能であるが、当該チーム同士が対戦する場合は、どちらか一方のチームでしかスターティングリストにエントリーできない。

例6) 全日本学生ホッケー選手権大会に男子チームの医療スタッフとして参加登録し、同時に参加している別のチーム（男女関係なく）の医療スタッフとして参加することができる。

例7) 全日本学生ホッケー選手権大会の男子チームの監督として参加登録し、同時に参加している別のチーム（男女関係なく）の医療スタッフとして参加することができる。

- (2) 医療スタッフは試合中、手当の業務に専従し、試合時間中（インターバル及びハーフタイムを含む）にフィールド及びベンチ内においてコーチングを行うことを厳に禁止する。コーチングを行っていることが認められた場合、大会 TD により退席処分及び以降の試合への参加を認めない処分を行う場合がある。

例8) 医療スタッフとしてスターティングリストにエントリーされている医療スタッフが、インターバル中に明確なコーチングを行うことは認めない

3. 国民スポーツ大会出場にかかる制限

- (1) 全ての役職において、同一都道府県での出場しか許されない。すなわち、医療スタッフを含め全ての役職において、同一都道府県以外での兼任はできない。
- (2) 監督・コーチ・選手では、種別をまたいでの兼任は認められない。
- (3) 医療スタッフについてのみ、同一都道府県内であれば兼任を認める。

例9) A 県少年男子チームの「監督」は A 県少年女子チームの医療スタッフとして参加できる。

4. その他

- (1) 「チームスタッフ」の制限について、ホッケー日本リーグ、全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦全国高等学校ホッケー選手権大会、全日本中学生ホッケー選手権大会、全国スポーツ少年団ホッケー交流大会、全日本マスターズホッケー大会、全日本中学生都道府県対抗 11 人制ホッケー選手権大会、全国高等学校選抜ホッケー大会については、実施要項もしくは大会レギュレーションで定める。

- (2) この通達は、各種ブロック予選会も同様の扱いとする。

5. 適用期日：2026 年 4 月 1 日より適用

【お問合せ先】

公益社団法人 日本ホッケー協会事業本部
競技運営部 西澤 英一郎

E-mail: co@japan-hockey.org

2024年5月21日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
U15 カテゴリー部会 御中
スポーツ少年団部会 御中
各ブロック、各都道府県競技長・審判長 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会事業本部
競技運営部長 千野 雅人

国民スポーツ大会ブロック予選実施時の試合時間ストップ制の推奨について（通達）

平素より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、国民スポーツ大会ブロック予選では、試合スケジュールの都合やフィールド環境の関係から、試合をノンストップ制で実施しております。しかし、国民スポーツ大会本大会ではストップ制を採用しており、予選にあたるブロック大会においてもストップ制（PC時の試合時間の停止）の導入を推奨致します。

関係各位におかれましては、ご理解をいただき、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 趣旨

国民スポーツ大会ブロック予選では試合時間をノンストップ制で実施しています。これは、試合スケジュールの制約、会場利用時間、フィールド環境などの要因によるものです。一方国民スポーツ大会ではストップ制が導入されており、ブロック予選から同一条件を適用すべきと考えられます。

また、ホッケーの魅力を多くの人に伝える観点からも、ストップ制の導入により多くの得点機会が増加する効果が期待できます。

2. 実施

国民スポーツ大会ブロック予選では多くの試合を実施されることを考慮し、全試合又は決勝戦や準決勝等からの積極的に導入することを推奨いたします。TD 等とご相談の上ご判断いただきますよう、お願いいたします。

3. その他

ブロック大会を含む各種大会においても、ストップ制の導入を積極的に検討・推奨します。

4. 適用開始日

即日

【お問合せ先】

公益社団法人日本ホッケー協会
事業本部競技運営部 競技部
電話 03-6812-9200
E-mail info@japan-hockey.org

2023年3月27日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
中学校部会 御中
スポーツ少年団部会 御中
各ブロック、各都道府県競技長・審判長 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会
事業本部競技運営部 部長 千野 雅人

2023 年度 競技規則ならびに競技運営規程等について（通達）

平素より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2023年度 競技規則ならびに競技運営規程等に関し下記の通り通達いたします。

記

1 通達事項

- 1) 競技者の人数についてのガイドライン
- 2) 6人制ホッケー競技規則 及び 試験的規則等
- 3) 競技にかかわる規程類の改廃について

【お問合せ先】

公益社団法人 日本ホッケー協会
事業本部競技運営部 西澤 英一郎
E-mail: technical-com.jha@outlook.jp

競技者の人数についてのガイドライン (通達)

2023年度適用の競技運営規程において、棄権・失格の事由として、出場選手の下限についての内容を削除しております。これは国際ホッケー連盟の規程に沿う形での改訂となりますが、国内における競技の安全性、公平性を考慮し、他の競技の規則/規程を参考にガイドラインを制定いたしました。

関係各位におかれましては、ご理解をいただき、大会運営規程策定時にガイドラインを参考に対応いただきますようお願い申し上げます。

1 2023年度競技運営規程 (2重取り消し線を削除)

13. 棄権・失格

13.1 と 13.2

- a 公認される事由なく ~~試合開始時に試合に出場する選手が11名に満たないチーム、~~ 試合を棄権したチーム、試合拒否ないし試合を終了させることを拒否したチーム、公式試合記録への署名を試合終了後10分以内に完了しなかったチームは、大会を棄権したものと見なす。

2 競技者の人数についてのガイドライン

いずれかのチームが7人未満(6人制は4人未満)の場合、試合は開始も続行もされない。

試合中の負傷(その試合で引き続きプレイする可能性がある場合)や、一時退場で7人未満(6人制は4人未満)となった場合、試合は続行される。

- ① 参加申込時は、選手11名(6人制は6名)以上であること
- ② 試合前のメンバーチェックを受けていない選手は、その試合でプレイすることは出来ない

3 大会運営上の注意点

- ① 競技者の人数については、大会の状況と安全面を考慮して各部会、連盟等の大会統括団体に協議して決定すること。決定内容について大会実施要項又は大会運営規程に明記し参加全チームに周知すること。
- ② 試合中の負傷(その試合でプレイする可能性がある場合)、一時退場で7人未満(6人制は4人未満)となった場合についても、その対応を明記すること。

4 適用開始日

2023年4月1日

6人制ホッケー競技規則 及び 試験的規則等 (通達)

2022年は日本国内では2019年版ホッケー競技規則の全面改定による新規発行は行わず、下記の通り該当箇所を通知することにより周知いたしました。2023年は、6人制ホッケーについても本通知にて周知することといたしました。

また、6人制ホッケーにおいては試験的規則を導入いたします。試験的規則の実施については、各部会、連盟等の大会統括団体で協議し決定してください。あわせて、参加チームには、周知して大会を実施することをお願いいたします。

I 【競技規則】

1 競技フィールド

1.2

原文：

すべてのラインは75mm であり、フィールドの一部である。規程の長さを実践で描く。

試験的規則：

すべてのラインの幅は50mm 又は75mm であり、フィールドの一部である（プレイに影響がなければ50mm と75mm が混在してもよい）。規程の長さを実線で描く。

1.3 その他のマーク

原文

a. センターラインは全長を直線で引く。

試験的規則

a. センターラインは全長を直線で引くか、150～300 mm のセンタースポットとサイドライン上にフィールドの外側に向かって150～300 mm のセンターマークをしるす。

原文

b. バックラインより12 m のサイドライン上に、フィールドの外側に向かって300 mm のマークをしるす。（4ヶ所）

試験的規則

b. バックラインより12 m のサイドライン上に、フィールドの外側に向かって150～300 mm の12m マークをしるす。（4ヶ所）

原文

b. ペナルティコーナーを行う時のために、各バックラインの外側に向かって長さ300 mm のマークがしるされる。

試験的規則

c. ペナルティコーナーを行う時のために、各バックラインの外側に向かって長さ150～300 mm の8m および4m マークをしるす。

原文

d. コーナーを行う時のために、バックラインから16m のサイドライン上にフィールドの内側に向かって300 mm のマークをしるす。また、ゴールラインから16m のフィールド中央部にも長さ300mm のマークをしるす。

試験的規則

e. コーナーを行う時のために、バックラインから16 m のサイドライン上にフィールドの外側に向かって150～300mm の16m マークをしるす。また、ゴールラインから16 m のフィールド中央部にも長さ150～300 mm の16m スポットをしるす。

原文

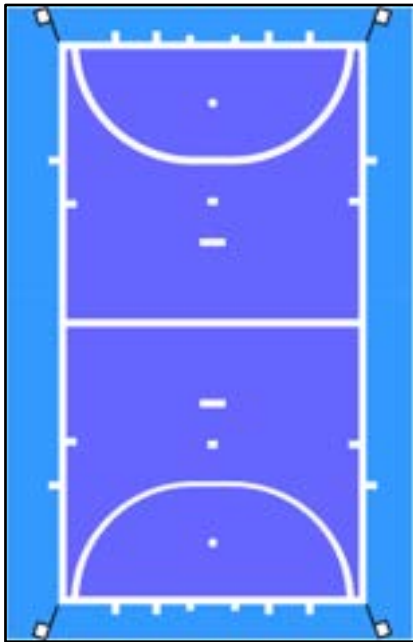
- f. シュートアウトを行う時のために、各ゴールラインからフィールド内中央20 m の地点に長さ1 m のラインをしるす。これは、ゴールラインの外側の縁からシュートアウトラインの中央に近い縁までの長さを20 m とする。

試験的規則

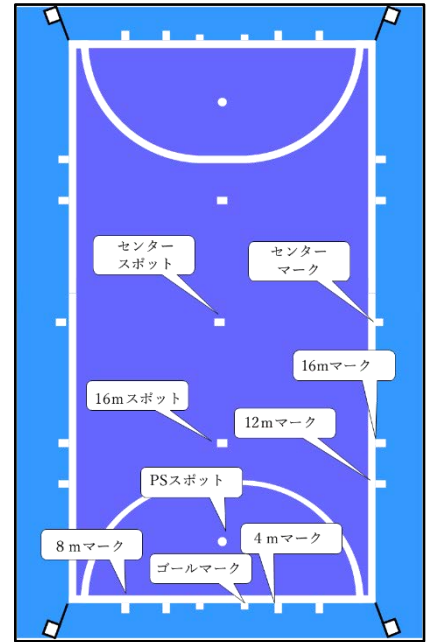
原文削除

図1 競技場（試験的規則の導入）

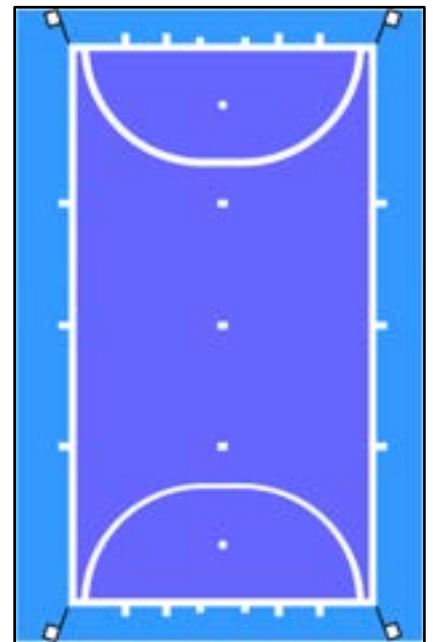
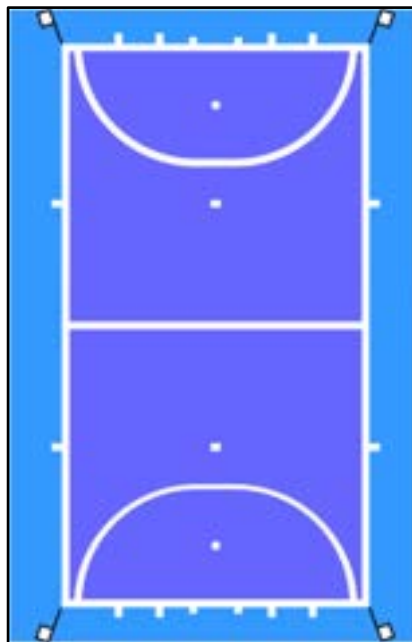
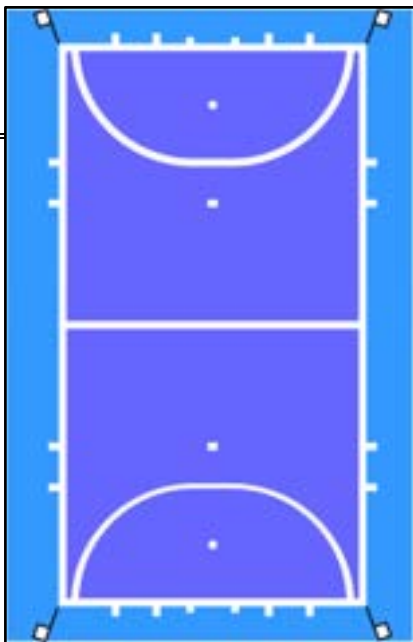
原文



マークの呼称



試験的規則



4 プレイヤーの服装と装備

4.2

原文

ペナルティコーナー及びペナルティストロークの実施中、サークル内でその守備をおこなう場合、顔に密着するようなフェイスマスクの装着が許される。フェイスマスクは、表面がなめらかなものか、顔の形に添った金属製の網（ガード）のついたもので、色は透明か白、ほかの色の場合は単色であればよい。フェイスマスクの着用は、そもそもペナルティコーナーの守備を安全に行うことが主たる目的であって、その根本となる精神に則って着用が許されていることを常に認識しておかなければならない。

変更後

ペナルティコーナー及びペナルティストロークの実施中、サークル内でその守備をおこなう場合、顔に密着するようなフェイスマスクの装着が許される。フェイスマスクは、表面がなめらかなものか、顔の形に添った金属製の網（ガード）のついたもので、色は透明か白、ほかの色の場合は単色であればよい。守備者がPC用の防具を取り外す適切な機会が無かった場合、自陣エリアにいる間、ペナルティ無しで防具を着用し続けることができる。すべてのプレイヤーは、自陣エリアから出る前、または審判から指示されたときに、すべての保護具を外さなければならない。

6 試合の開始と再開

6.5

原文

d. 他のプレイヤーは、全員、ボールから少なくとも4m以上離れていなければならない。（自陣側にいる必要はない）

変更後

d. 他のプレイヤーは、全員、ボールから少なくとも4m以上離れていなければならない。（自陣側にいる必要はない）

<文言追加> ペナルティコーナー実施中に、ブリーが与えられた場合はペナルティコーナーが再び与えられる。

9 プレイの細則：プレイヤー

9.10

原文

上げられたボールが落下してくる時、そのボールを受けたり、コントロールしたり、グラウンド上に戻そうとしていたりしているプレイヤーがいる時は、相手側はそのプレイヤーから4m以内の距離に近づいてはならない。

変更後

上げられたボールが落下してくる時、そのボールを受けたり、コントロールしたり、グラウンド上に戻そうとしていたりしているプレイヤーがいる時は、相手側はそのプレイヤーから4m以内の距離に近づいてはならない。落下地点でレシーブしようとしているプレイヤーに対し、4mより離れた地点から近づいてボールをインターセプトすることができる。ただし、プレイヤー同士がプレイ可能範囲内でないこと、かつ安全にプレイできる状態であること。

13 罰則の実施手順

13.3 ペナルティコーナーは、以下のように実施される。

原文

g. 残りの守備プレイヤーは、センターラインの向こう側にいなければならない。

試験的規則

g. 残りの守備プレイヤーは、相手チームのバックラインから16m以内にいなければならない。

13.5 ペナルティコーナーは以下の場合に完遂されたこととなる。

原文

g. ブリーが与えられた時。

変更後

原文削除

付録

6人制のシュートアウト戦

1 シュートアウト戦の人数

原文

…3名のシュートアウト実施プレイヤーと1名のゴールキーパーは、シュートアウト戦の始まる前に監督から当該テクニカルオフィサーに申し出て、シュートアウトを行わなければならない。

変更後原文削除

5 シュートアウト戦の開始線と規定タイム（試験的規則の導入） 原文

シュートアウト戦は、ゴールラインからフィールド中央の20m地点に引かれたライン上にボールを置いて、シュートアウトを行うプレイヤーとゴールキーパーにより、1対1の攻防を行う。シュートアウトは、8秒以内にボールがゴールラインを完全に通過したときに、その得点が認められる。シュートアウトを行うための開始線は、ゴールラインのフィールドの内側の縁から20mラインのセンターラインに近い縁までを20mとする。

試験的規則

シュートアウト戦は、ゴールラインからフィールド中央の16m地点に引かれた16mスポット上にボールを置いて、シュートアウトを行うプレイヤーとゴールキーパーにより、1対1の攻防を行う。シュートアウトは、6秒以内にボールがゴールラインを完全に通過したときに、その得点が認められる。シュートアウトを行うための開始線は、ゴールラインのフィールドの内側の縁から16mスポットのセンターラインに近い縁までを16mとする。

II 【適用開始日】

2023年4月1日

2023年11月7日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
中学校部会 御中
スポーツ少年団部会 御中

公益社団法人 日本ホッケー協会
競技運営部 部長 千野 雅人

公認スティックシールの厳格な取扱いについて（通知）

平素より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、JHA 公式試合にて公認スティックシールの悪用事例が見られました。つきましては、再度厳格な取扱いをお願いするとともに、発覚時には行動規範〔「競技運営規程付属書4・5に記載」〕と照らし合わせ、厳格に対処いたします。関係各位におかれましては、再度確認いただき、周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1、発覚経緯

JHA 主催大会において、選手より日本では取り扱っていないブランドのスティックがあるとの情報があった。スティックを確認したところ、JHA の公認シールが貼られていた。しかし、スティックに添付されていた公認シールの業者では、そのスティックが取り扱われていないことが判明（ブランド登録一覧表と照合）した。また、国内では流通していないブランドのスティックであることが確認できた。所有者に確認したところ、日本国外で購入し、公認シールを所有者が自ら貼ったことを認めた。

2、JHA の定めている規定

用具製造販売事業者公認制度第3条2では、「JHA が主催または共催する試合においては、用具製造販売公認事業者が販売または提供した公認ボールおよび公認スティック以外のボールおよびスティックは使用できない」と定めております。

3、今後の対応、対策

本事案は用具製造販売事業者公認制度の信頼を揺るがす行為であり、意図的かつ悪質であると考えております。今後このような事案が発生した場合は、行動規範に照らし合わせ、出場停止処分等の厳格な処分を行わせていただく事があります。また、試合前に行われるスティックチェックについて、ブランドを個別に確認するなどの対策を強化いたします。

2021年6月1日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
中学校部会 御中
スポーツ少年団部会 御中
各ブロック、各都道府県競技長・審判長 各位
公認用具製造販売事業者 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会
技術委員会 委員長 平尾 豊

JHA 公認試合球について（通知）

平素より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、2019年FIH ホッケーボール基準（FIH Hockey Ball Standard）の発行に伴い、国際試合で使用される FIH 公認ボールの一覧が示されました。

つきましては、JHA が主催または共催する公式試合で使用する公認試合球について下記の通り基準を設けましたので通知します。

関係各位におかれましては、ご理解をいただき、周知及び対応いただきますようお願い申し上げます。

記

1 公認試合球

公式試合で使用する公認試合球は、次の通りとします。

- 1) 公認試合球は、用具製造販売公認事業者が販売する FIH 公認であること。（表1）
- 2) 公認試合球の表面には、JHA 検定マーク（JHA 事業者番号入り）がシールまたはプリント(注)で表示されていること。
- 3) 表2に定める競技会では、それぞれ規定された公認試合球を使用すること。

2 その他

- 1) FIH 公認ボールは、随時更新されますので、FIH ホームページで確認してください。
- 2) 公式試合で使用する公認試合球については、大会実施要項等で製造会社および製品名を必ず明記してください。

表 1 FIH 公認ボール (2021 年 4 月現在)

	グローバル規格	ナショナルエリート規格		
商品名	Kookaburra Dimple Elite	Kookaburra Dimple Standard	Chingford Gold	Grays Select
製造会社	Kookaburra Sport Pty Ltd.	Kookaburra Sport Pty Ltd.	Anwar Khawaja Composites	Grays Hockey

表 2 公認試合球規定

競技会	公認試合球 (FIH公認ボール規格)
高円宮杯日本リーグ	グローバル規格
全日本選手権	
全日本社会人大会	
国民体育大会	
全日本学生選手権大会	
全日本大学王座決定戦・東西交流戦	
全国高等学校選手権大会	グローバル規格 または ナショナルエリート規格
全国高等学校選抜大会	
全日本中学生選手権大会	
全日本中学生都道府県対抗11人制	
スポーツ少年団交流大会	
全日本マスターズ大会	
マスターズ Japan Cup	
全国大会の予選会	

【お問合せ先】

公益社団法人日本ホッケー協会技術委員会
栗原崇 (technical-com.jha@outlook.jp)

下線注) 2021 年 7 月 5 日公認試合球の JHA 公認マークについて (訂正通知) により「プリント」から本文表記「シールまたはプリント」に修正されております。

2021年7月5日

都道府県ホッケー協会 御中
ホッケージャパンリーグ 御中
日本社会人ホッケー連盟 御中
日本学生ホッケー連盟 御中
全国高等学校体育連盟ホッケー専門部 御中
マスターズ部会 御中
中学校部会 御中
スポーツ少年団部会 御中
各ブロック、各都道府県競技長・審判長 各位

公益社団法人 日本ホッケー協会
技術委員会 委員長 平尾 豊

チームベンチ内でのビデオ（カメラ）撮影について（通知）

平素より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、試合中のチームベンチ内でのビデオ（カメラ）撮影について下記の通り許可いたしますので通知します。

関係各位におかれましては、ご理解とご協力をいただき、周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 試合中のチームベンチ内でのビデオ（カメラ）撮影の許可条件
 - 1) 試合の円滑な進行に支障がないこと
 - 2) 撮影者は、スターティングリストに記載した者であること
 - 3) 撮影の位置は、テクニカルテーブルから遠い方のベンチ内で撮影すること
 - 4) ビデオ（カメラ）の台数は、必要最低限にすること
 - 5) チームの監督は、ベンチ内の安全に責任を負うこと
 - 6) チームの監督は、私的利用を目的とした撮影であることを理解し、相手チーム及び関係者の肖像権等を侵害しないよう留意すること
 - 7) 大会主催者、テクニカルデリゲート（TD）及びテクニカルオフィサー（TO）からの指示には従うこと

【お問合せ先】

公益社団法人日本ホッケー協会技術委員会
森 義彦 (technical-com.jha@outlook.jp)